

集計結果に基づく検討

○事業所名	桶川市児童発達支援センターいずみの学園		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年11月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
業務改善体制整備 10	・臨床心理士、言語聴覚士、理学療法士による研修を行い、事例検討も含めながら実務に沿った内容でこどもの発達の理解を深めております。	・静養室を設置しております。子どもの混乱時や気持ち不安定になった時など、状況に応じていつでも使用できるようにしております。	・第三者評価には社会福祉士会などに依頼をして実施するものと想定しておりますが、評価機関への委託料を予算化するのが難しい現状です。近隣自治体の状況を見ながら検討してまいります。
と関係連携支援 11 保護者 33	・臨床心理士及び言語聴覚士により、新版K式発達検査等を使用しながらこどもの発達段階の確認、理学療法士による専門的な助言により、適切な支援の提供に務めております。 ・定期的に市内公立保育所との交流会や、児童館での交流、年長児の保育所通所支援、学校訪問、並行支援先の施設訪問などを通じ、情報共有と相互理解を図っております。	・子どもたちが楽しく活動に参加できるような工夫をしております。個々の発達状況を踏まえており、固定化にはならないような活動プログラムになっております。また、新しい経験ができる設定や繰り返し行うことで経験が積み重ねられるような活動も大切にしております。	・適宜、研修に参加しております。埼玉県発達障害総合支援センターとも連携して助言を受ける等実施しております。施設内における虐待防止について、全職員で園内研修に参加し、自己研鑽に努めております。
非常時等への対応等 34 52	・保護者公開日の開催や親子通園、各種行事等を通じて保護者様が集まる機会を定期的に設け、保護者様同士の交流や連携が図れる支援を心がけております。また、ごきょうだいその他ご家族皆様が各種行事に参加しやすい内容と雰囲気づくりに努めております。	・日々、連絡ノートにて子育ての悩みや相談に丁寧に対応しております。また、必要に応じて電話及び面談での相談を行い、保護者様一人ひとりに合わせて対応と支援を行っております。	・虐待防止委員会を設置し、年に数回研修の機会を確保し、事例等をふまえ、子どもの発達状況に合わせた支援ができるよう心掛けております。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	工夫していることや意識的に行っている取組み	さらに充実を図るための取組み
業務改善体制整備 10	・保育士不足を受けて人員の確保が難しい。こどものアセスメントの情報共有の方法の工夫に努めております。	・療育を行う上で、職員間で声をかけあい、場合によっては適宜意見を聞く機会を設けております。業務の実態を把握し改善に努めてまいります。	・限られた時間の使い方の充実・工夫に努めてまいります。 ・園内研修等を行い、子どもの発達状況のとらえ方を共有してまいります。
と関係連携支援 11 保護者 33	・障害児相談支援事業所、関係機関、地域住民等地域の施設や住民とのつながりに努めます。	・桶川市の母子保健担当者や、子ども・子育て支援担当者と定期的に療育連絡調整会議を実施しております。また、必要に応じて主治医や協力医療機関と連携を取り、同行受診も行うなど、子ども一人ひとりの状況に合わせた支援を行っております。	・必要に応じ、当施設が発信してサービス担当者会議を開催したり、連携を図ったりします。 ・地域における当施設の役割を確認し、今後も地域のつながりを充実することに努めます。
非常時等への対応等 34 52	・非常時の避難場所や地域における当施設の役割の見直しに努めます。	・「防災計画及び行動マニュアル」及び「感染症マニュアル」を策定し避難訓練などを実施しております。また感染症についても、迅速に保護者様への周知を行っております。	・地域住民との連携に努めます。 ・定期的に訓練や見直しを行いながら、安全管理に努めております。